

二瀬通信

飯塚市立二瀬中学校

令和2年3月25日

文責 吉田 浩昭



今と未来をつなぐ二瀬中

義務教育からの巣立ち

＝第73回卒業証書授与式＝

12日に第73回卒業証書授与式を行いました。ご承知のとおり本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市で統一して参加者、式次第、時間等を縮小した式となりました。しかし、卒業生の節目を祝う気持ちは変わりません。むしろ例年以上に職員は、気持ちを込めて式の準備を行いました。式当日に、臨時休校直前に歌った「卒業生の歌」の映像を式前に会場で流し、受付で卒業生が書いた保護者あての手紙を保護者へ渡したのは3年職員の気持ちの表れです。このような職員の気持ち、そして保護者の気持ちが届いたのか、卒業生は友人、先生、校舎との別れを惜しみながらもこれから進む次のステージ、そして未来への決意を強くした様子でした。これまで以上に感慨深い式でした。



本年度を振り返って キャリア教育をやったよかった

思いもよらない3月となってしまいました。年度末に際して本校教育の根幹であるグローバルなキャリア教育（以下キャリア教育）に焦点をあて、本年度を振り返ってみたいと思います。本校でキャリア教育をスタートして3年目、生徒の未来のためにカリキュラムマネジメントの改善を繰り返してきた成果が本年度、着実に形としてあらわれたと考えています。まず、大きな成果は意識です、全国学力学習調査の質問紙において「自尊感情」「外国への興味・関心」「話し合いのスキル」「教科の将来に対する有用性」「社会貢献」といった項目で大きな上昇がみられました。データだけではなく、生徒の姿から将来を見据え、夢をかなえるために必要な力を身につけたいという意欲の高まりを感じることができます。具体的に話し合い活動を見ても、この3年間で話し合いの活発さが増してきましたし、話し合いの中での発言の質が高まってきました。さらに、外国の方との接し方も積極性が増し、行動力の高まりを感じます。11月にはキャリア教育の九州大会においてその成果を表すことができました。参観された先生方から高い評価をいただいたのも、生徒の姿から本校のキャリア教育の成果を感じ取っていただいたからではないかと手前味噌ながら思っています。

このように3年間で一定の成果をあげてきた本校のキャリア教育ですが、これがゴールではありません。来年度は生徒の身につけさせたいキャリアの力を絞り、より焦点化したキャリア教育にリニューアルしたいと考えています。保護者・地域の皆様、これからも生徒の未来のために力を合わせて頑張りましょう。よろしくお願いたします。

1年生「達人に学ぶ」第4弾 ”Think Globally, Act Locally”

2月25日に1年生は「達人に学ぶ」第4弾として南アフリカへの支援を行っている庄田清人さんをお招きして国際貢献について学びました。会の中で庄田さんは、なぜ国際貢献をしようと思ったのか、南アフリカで何をしてきたのか、これから何をしようと考えているのかをお話されました。また、南アフリカの中学生とテレビ電話を使った交流も行いました。「グローバルに考え、ローカルで活動する」この言葉が生徒の心に残ったのではないかと思います。



臨時休校に際して

2月27日、突然の臨時休校要請、そして市統一の臨時休校。学校もその対応に追われましたが、保護者の方にはそれ以上に不安と負担を強いることになりました。何より生徒に不安と悲しみを与えることになりました。しかし、世界中が新型コロナウイルス感染拡大防止のために動いています。保護者・地域の皆様にもご理解いただきますようお願いいたします。

私はこの未曾有の事態を直視し、「どうすることが生徒にとって大事なのか」を冷静に判断し、そのための方策を職員、保護者、地域の方の力を集めて実行することが学校の役割と考えています。ご協力をお願いいたします。

なお、本日「新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に係る今後の対応について」という文書を生徒に配付しています。内容は始業式、部活動、欠席の取扱い、ご家庭で留意していただきたい点等についてです。よく読んでいただき、併せてご理解とご協力をお願いいたします。特に

- 手洗い、うがい、せきエチケットの徹底、できうる限りのマスク着用
 - 換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に行かない
- についてはご家庭でもご指導ください。